

データを活用した「シャインマスカット」の多収・高品質安定生産技術の確立（R4～6）

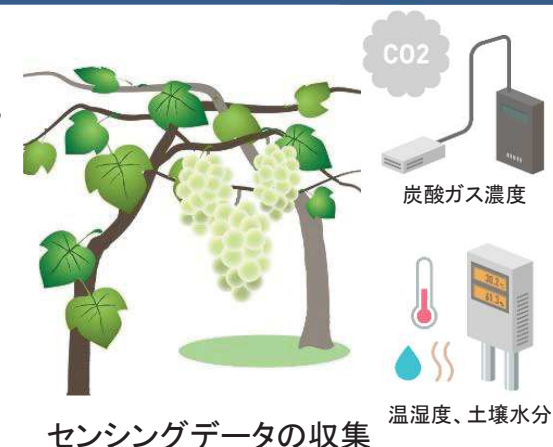
果樹試験場

背景・目的

本県産の高品質なシャインマスカットは、国内外で高く評価されており、海外への輸出をはじめ増大する国内外の需要に応えるため、高い品質を維持しつつ生産性を大幅に向上する新たな技術開発が必要。

しかしながら、加温栽培ではハウス内環境の影響を受けやすく、安定生産技術が未確立。また露地栽培では、高い品質を維持しつつ収量を上げる技術が必要。

そこで、ICT機器を活用して栽培環境条件や樹体生育をセンシングし、データを解析することにより、加温栽培における安定生産技術、露地栽培においては、高品質を維持した多収技術を確立。



研究内容

1年目

加温栽培

普通加温作型において、ICT機器を活用したデータの「見える化」

- ・温湿度、炭酸ガス濃度、土壤水分、葉面積、葉色など



露地栽培

多収技術の検討

- ・主枝間隔の縮小
- ・多着果条件

多収に適した栽培管理方法の検討

- ・上部支梗利用
- ・摘心方法

2年目

加温栽培

センシングデータの解析

安定生産技術の検討

- ・電照、炭酸ガスの施用、マルチ&ドリップ灌水など

露地栽培

多収技術による増収効果の確認

- ・収量、作業量など

樹体への影響の検討

- ・樹勢、土壤理化学性など

3年目

加温栽培

データの解析結果を基にした加温体系の改善

安定生産技術の確立

露地栽培

多収技術の確立

収量UP!

期待される成果

- ・加温栽培における安定生産技術の確立により、収量が向上
(露地での多収技術を導入し、従来の2倍程度の収量:2.6t/10aを目指す。)
- ・露地栽培における高品質・多収技術の確立により、収量が従来の2倍の3.0t/10a以上
- ・高品質な山梨県産シャインマスカットの国内外への供給量が増加し、市場競争力が向上

データ農業で
高品質な「シャインマスカット」を
国内外に届けたい!

